

37. 陸水の化学

日本化学会編 単行本: 184 ページ
出版社: 学会出版センター (1992/03)
ISBN-10: 4762256978
ISBN-13: 978-4762256974
発売日: 1992/03
4000 円 (当時)



目次

1. はじめに
2. 大気降水物の寄与
3. 岩石風化に由来する物質
4. 湖沼における物質代謝と物質循環
5. 河川における物質代謝と物質循環
6. 陸水中の微量金属成分
7. 生体由来有機物の代謝
8. 降水
9. 地下水
10. 河川水
11. 湖沼水
12. ブラジルの湖沼、その地球環境的意義
13. 西アジア、東南アジアの陸水
14. カメルーンの火口湖
15. 中国の湖
16. チベット高原の河川、湖沼
17. 南極の湖沼

紹介コメント

陸水とは海水との区別としているものであるが、淡水と直接はリンクせずいろいろな水があることが本書を読むとよくわかる。目次をみてわかるように、大きく分ければ、地上の水に影響する因子、各種陸水の状況、各国に存在するバラエティーに富んだ陸水の紹介で成り立っている。学会の企画委員会で本書の作成を行っているのだから、内容は骨太で入りにくい印象を与えるが、本全体の構成が地下水を取り囲む種々因子を網羅したものとなっているほか、各章の内容はロジカルであるため、非常に参考になるものと思う。